

澤 尚幸

さわ なおゆき / Sawa Naoyuki

所属・役職	<p>一般社団法人 Community Future Design 代表理事</p> <p>慶應義塾大学 SFC 研究所 上席所員</p>	
活動拠点	<p>長崎県壱岐市、香川県三豊市、兵庫県豊岡市・西宮市、福島県会津地域、岐阜県、広島県備後地域（福山市・神石高原町）（過去に活動したのものも含む）</p>	
略歴	<p>1991年 東京大学理学部数学科卒業、郵政省入省（簡易保険局）</p> <p>2014年 日本郵便株式会社経営企画部長</p> <p>2015年 一般社団法人 Community Future Design 代表理事就任</p> <p>2018年 福山市経営戦略監（CIO 補佐）就任（～2019年）</p> <p>2020年 慶應義塾大学 SFC 研究所 上席所員就任。2022年 同大学院修士課程修了</p>	
こんなことを支援できます	<p>①行政・地域 DX 戦略立案</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政・地域 DX の戦略づくり・組織づくり・官民連携推進の支援。 デジタル化前処理としてのトランスフォーメーション（行動変容）の推進支援。 <p>②EBPM・データ活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 政策意思決定のためのデータ収集・分析・EBPM 実現支援。 教育・医療・地域分野における証拠・証拠に基づく計画策定支援。 <p>③DX 人材・組織開発</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政・地域 DX の機運の醸成 行政職員の意識改革・行動変容を促す研修・ワークショップの設計・実施。 住民の声を活かした官民協働プロジェクトの立案・運営支援。 	
自治体向けメッセージ	<p>多くの DX が実証で終わってしまいます。持続するヒントは、住民の「なぜ」「やりたい」から積み上げること。郵政・金融・地域活性化での豊富な実務経験、コミュニティ形成の経験を活かし、人の気持ちを汲んだ質の高い DX を実現します。</p>	

<主な専門分野> ※特に得意とする専門分野を3つまで掲載

人外

外部人材活用

プ

プロジェクトマネジメント支援

EB

EBPM

<地域情報化に関する実績>

① 広島県福山市での取り組み

2018年に経営戦略監に就任し、その後政策アドバイザーとして活動。CIO補佐、CIA（Chief Information Adviser）として活動。行政側のDXの推進にかかる問題の洗い出し、IT投資の効率化と審査の質の向上、DXにおける官民連携の推進、などに取り組んだ。

また、学校教育のエビデンスベースでの評価の仕組みづくりを行い、福山市教育委員会と共同して、21世紀を生き抜く子どもたちを育成するための、教員のあるべき姿をエビデンスベースで明らかにする研究も実施した。

② 福島県会津地域での取り組み

会津17市町村等から組成される「会津総合開発協議会」から生まれた、会津の人々による東日本大震災からの復興のための組織「会津価値創造フォーラム」へのアドバイスを持続的に行った。会津全体の住民の相互のコミュニケーションの活性化のために、「広域連携、教育、DX」を柱に掲げ、オンラインと非同期型のコミュニケーションツールの活用など、広域連携のための先進的な取り組みを支援したほか、西会津町、磐梯町など、個別の自治体の地域づくりの支援を地域のリーダーと連携して、数年亘りまちづくりワークショップを実施し、具体的な取り組みを複数実現したほか、DXによる局的・広域含めた関係性の構築を支援した。

③ 岐阜県での取り組み

2021年に岐阜県デジタルトランスフォーメーション有識者会議の委員に就任、最終提言を実施。その後、ぎふDX支援センターの開設に合わせて、2022年度から「ぎふDXアドバイザー」として、岐阜県内の市町村のDXの施策の評価や支援などを実施している。

④ その他

国の実証事業のメンバーとして、福井県南越前町によるヘルスケア事業（デジタルデバイス等を活用し、郵便局などの通いの場からの住民介入を行うことで、健康状態の改善に効果があるか、どのような介入が改善に影響するかなどを実証）に関わったほか、豊岡市・西宮市においても、デジタルデバイスだけでなく、人的介入を効果的に実施することにより、政策目的を達成できるような仕組みづくり（コミュニティアプローチ）とその支援を実施している。